

平成16年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果

(平成17年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成16年4月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成17年3月

産業労働部長 横田 満

総括コメント

・「15,000人の雇用創出」については、平成16年2月に策定した「雇用創出プラン」を着実に推進した結果、平成16年度は4,424人(平成16年12月現在)の雇用が創出された(平成15年度とあわせて、9,074人 進捗率60.5%)。平成17年度はUターン情報センターの機能充実を図るなど、さらに雇用創出に向けた施策を強化し、15,000人の雇用創出を図っていきたい。

・産力強化については、福井県産力戦略本部を平成16年5月に創設し、「最先端技術のメッカづくり基本指針」「福井県知的財産活用プログラム」の策定、伊藤忠商事との先端技術分野における戦略提携の締結、地域再生計画「ふくい産力強化計画」の認定などの成果を上げた。今後とも産学官一体となって産力強化を推進していきたい。

・企業誘致については、「アタック500」をスローガンに、企業誘致に総力を挙げて取り組んだ結果、豊田通商(株)の子会社「グリーンメタルズ北陸(株)」や「生晃栄養薬品工業(株)」などの工場新增設につなげることができた。今後とも全力で県外からの企業誘致に取り組んでいきたい。

・「5000の新規創業」については、企業経営に精通したプロジェクトマネージャーの設置、(財)福井県産業支援センター、(財)福井県デザインセンター、(財)福井県中小企業産業大学の統合、地域助け合いビジネスの起業化支援などに取り組み、順調に成果を上げることができた。来年度も引き続き創業や第二創業に対する支援を継続していきたい。

・また、福井港の関税法上の開港の要件である外航船50隻入港の達成、東アジア・マーケット開拓戦略プランに基づく本県企業の展示商談会への出展等の支援、観光商談会を通じた販路拡大等については、計画を上回る成果を上げることができた。

政策合意」の取組項目に係る結果について

別紙「平成16年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)」のとおりに

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
重点項目 1 15,000人の雇用創出 「雇用創出プラン」に掲げた施策の雇用創出成果を検証し、目標達成に向け、他部局と連携して速やかに対応します。		〔成果等〕 取組を継続中です。 雇用創出プランに掲げた施策を着実に実施し、4,424人(平成16年12月末現在)の雇用が創出されました(平成15年度とあわせて、9,074人進捗率60.5%)。	
		新たな雇用の受け皿づくり 1,838人 雇用のミスマッチの解消 1,165人 セーフティネットの充実 1,421人 計 4,424人 (12月末現在)	
若者就職支援センター(ジョブカフェ)を5月に開設し、「みんなに仕事を」合い言葉に、県内の経済界や公共職業安定所と一体となって、職業教育から就職支援、就業定着まで一貫した若者の就職支援を行います。		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。 若者就職支援センターを、5月10日に福井商工会議所ビルに開設し、一部業務を開始しました。また、7月5日に福井学生就職相談室を併設し、全面業務(職業紹介等)開始しました。	
〔・ジョブカフェ利用者の就職人数 60人〕		〔・ジョブカフェ利用者の就職人数 238人(3月16日現在)〕	
求人と求職がかみ合わない状態(雇用のミスマッチ)を解消するため、講義と企業実習が一体となった職業訓練(デュアルシステム)の導入や、中高年の失業者の意識啓発に主眼をおいたセミナーを新たに開催します。		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。 若年末就職者を対象とした職業訓練「デュアルシステム(委託訓練活用型)」や中高年齢者向けの再就職支援セミナーを実施しました。	
〔・デュアルシステム 訓練受講者の7割就職 ・再就職支援セミナー 参加者 500人〕		〔・デュアルシステム(OA情報科、訓練機関4か月) 就職率 88.2%(3月15日現在) (訓練修了者 17人、うち就職者数 15人) ・再就職支援セミナー 参加者数 568人(6か所)〕	
緊急地域雇用創出特別基金事業により、緊急かつ臨時的な雇用を創出するとともに、創出された雇用の定着化を図ります。		〔成果等〕 取組を継続中です。 緊急地域雇用創出特別基金事業により、緊急かつ臨時的な雇用を創出するとともに、同事業の受託事業主が被雇用者を正式雇用した場合、奨励金を支給することにより、創出された雇用の定着化を図りました。	
〔・基金事業による雇用創出数 1,400人 ・奨励金による雇用創出数 30人〕		〔・基金事業による雇用創出数 (教育・文化・環境など261事業) 1,526人(3月10日現在) ・奨励金による雇用創出数 (正式雇用届出者数) 28人〕	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】
 ・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
2 産力強化 知事をトップに県内の企業、大学、産業支援機関などの代表者による「福井県産力戦略本部」を5月に創設し、年度内に「最先端技術のメッカづくり」のための基本戦略を構築するとともに、産学官が一体となって最先端技術開発を推進します。		〔成果等〕 取組を継続中です。 知事をトップに県内産学官の代表者等による福井県産力戦略本部を5月に創設し、産学官連携や最先端技術開発に関する県内産学官の合意形成を図るとともに、「最先端技術のメッカづくり基本指針」を策定しました。 伊藤忠商事との先端技術分野における戦略提携の締結、地域再生計画「ふくい産力強化計画」の認定など、「産力強化」および「最先端技術のメッカづくり」を推進するための体制を整備し、それらを活用した最先端技術開発等を推進しました。	
本県固有の技術やノウハウなどの知的財産の創造・保護・活用を促進し、産業競争力を維持するため、「福井県知的財産活用プログラム」を年度内に策定します。		〔成果等〕 目標を達成しました。 知的財産の創造・保護・活用に関する企業、大学・公的研究機関、産業支援機関における課題を明らかし、今後、県として取り組むべき施策の基本方針と具体的方向性を示した「福井県知的財産活用プログラム」を平成17年3月に策定しました。	
3 積極的な企業誘致活動の展開 「アタック500」をスローガンに「福井の営業マン」としての気概を持ち、先端技術産業や雇用吸収力の高いコールセンターなどの誘致に総力を挙げて取り組みます。 (企業訪問 延べ500社 企業立地件数 13社 (平成16年))		〔成果等〕 取組を継続中です。 「アタック500」をスローガンに、企業誘致に総力を挙げて取り組んだ結果、豊田通商(株)の子会社「グリーンメタルズ北陸(株)」や「生晃栄養薬品工業(株)」などの工場新增設につながりました。 (企業訪問 延べ508社(2月末現在) 企業立地件数 14社(平成16年))	
個別項目 1 新しい技術開発による産業の高付加価値化 産学官共同研究に対する支援を充実し、さらに多くの県内企業の参加を促進します。		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。 新たに産学官共同研究に対する補助制度や工業技術センターにおける共同研究制度を創設し、産学官共同研究に対する支援を充実させました。また、県内公設試験研究機関における研究開発に産学官共同研究の手法を積極的に導入したことにより、当初計画を上回る企業が新たに産学官共同研究に参加しました。	
(産学官共同研究に参加する企業数 34社)		(産学官共同研究に参加した企業数 66社)	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
繊維や金属加工など本県が比較優位を有する技術をもとに、先端技術開発を行います。また、県が開発した先端技術の企業への移転を促進します。 (特許出願件数 8件 研究成果の企業への移転 5件)		【成果等】 目標を上回って達成しました。 工業技術センターにおける開繊技術やチタン加工、レーザ加工など本県が優位性を有する技術をもとにした先端技術開発など、県内公設試験研究機関において新規18テーマ、継続26テーマの研究開発を実施しました。また、平成15年度に研究が終了した5研究テーマについては、成果普及講習会などを開催し、県内企業等への技術移転を促進しました。 (特許出願件数 19件 研究成果の企業への移転 5件)	
2 やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ 無担保、第三者保証人不要で最高1億円を融資する開業特別支援資金などを活用し、県内外の意欲ある人材による創業を強力に支援します。 (・開業特別支援資金による新規創業 80社 ・意欲ある企業支援資金による第二創業 30社)		【成果等】 取組を継続中です。 開業特別支援資金などを活用し、県内外の意欲ある人材による創業を強力に支援しました。 (・開業特別支援資金による新規創業 130社 ・意欲ある企業支援資金による新規創業 24社 (2月末現在))	
(財)福井県産業支援センターに、民間企業で豊富な経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャーを公募により設置します。また、商工会議所との連携強化、女性の企業家が相談しやすい環境の整備に取り組むなど、「5000の新規創業」達成に向けた支援体制を整えます。 (・産業支援センターの支援による新規創業 50社 産業支援センターの支援による経営革新 50社 商工会議所等民間の支援による新規創業 150社 女性企業家異業種交流会の充実)		【成果等】 取組を継続中です。 民間企業で豊富な経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャー、サブマネージャーを公募により設置するなど、「5000の新規創業」達成に向けた支援体制を整備し、やる気のある企業や創業を強力にバックアップしました。 (・産業支援センターの支援による新規創業 57社 (2月末現在) ・産業支援センターの支援による経営革新 40社 (2月末現在) ・商工会議所等民間の支援による新規創業 66社 (9月末現在) ・女性相談件数 79件 (2月末現在) ・女性企業家異業種交流会 2回開催)	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
平成17年4月からの(財)福井県産業支援センター、(財)福井県デザインセンター、(財)福井県中小企業産業大学の統合に向けて取り組みます。		〔成果等〕 目標を達成しました。 平成17年4月に、(財)福井県産業支援センター、(財)福井県デザインセンター、(財)福井県中小企業産業大学を統合することとし、産業支援機能の充実に図りました。	
産学官連携による福井発の独自ソフトウェア開発など、雇用の拡大が見込まれるIT関連産業を育成します。 〔福井発独自ソフトウェア開発に向けた企業・大学の共同研究 10件〕		〔成果等〕 目標を達成しました。 産学官連携の共同研究グループが10件結成され、共同研究に取り組みました。 〔福井発独自ソフトウェア開発に向けた企業・大学の共同研究 10件〕	
県内外の先進的なサービス業の成功事例に関する情報提供や、地域助け合いビジネスの起業化支援、商業・サービス業を担う人材の育成などを通じてサービス産業の活性化を図ります。 〔HPでの先進的なサービス業成功事例の情報提供(6月から提供) ・先進的なサービス業成功事例集作成 ・地域助け合いビジネスに取り組む事業者 5社 ・人材育成セミナー参加者の7割が個店改善〕		〔成果等〕 目標を達成しました。 先進的なサービス業の情報提供を実施しました。地域助け合いビジネスに取り組む事業者が5社になりました。人材育成セミナーにより個店改善に取り組む事業者が増えました。 〔HPでの先進的なサービス業成功事例の情報提供(10月から提供) ・先進的なサービス業成功事例集作成(3月末) ・地域助け合いビジネスに取り組む事業者 5社 ・人材育成セミナー参加者の7割が個店改善(集計中)〕	
首都圏での県産品の販路を拡大するため、「ふくい南青山291」の展示販売機能を拡充します。また、東京・大阪圏での県内企業の取引先拡大を支援します。 〔ふくい南青山291の来館者数および売上額 前年比 5%増 ・東京・大阪圏などでの取引あっせん件数 40件〕		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。 冷蔵、冷凍設備を導入し、食品コーナーを充実するなど、展示販売機能を拡充しました。 〔施設来客数 37,059人(前年同期比6.8%増) ・売上高 29,179千円(前年同期比15.7%増) ・東京・大阪圏などでの取引あっせん件数 208件(いずれも2月末現在)〕	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
3	<p>新たな販路開拓 平成16年3月に策定した「東アジア・マーケット開拓戦略プラン」に基づき、本県企業の海外での展示商談会への出展等を支援します。</p> <p>〔東アジアでの県内企業の商談件数 400件 出展補助展示会での成約件数 50件〕</p>	<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>プランに掲げた県のフォローシステムに基づき、支援の方策のうち取組めるものから速やかに実行に移し、県内企業の東アジアでの販路開拓を支援しました。</p> <p>〔東アジアでの県内企業の商談件数 769件 (2月末現在) 出展補助展示会での成約件数 99件 (2月末現在)〕</p>	
4	<p>活かそう熟年パワー 熟年者が働く場や活躍の場が得られるよう人材情報等に関するホームページを9月までに立ち上げるなど、県民の方に広く熟年者の情報を提供し、熟年者の知恵と経験の活用を促進します。</p>	<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>熟年人材情報およびシルバー人材センター活動事例を掲載したホームページを作成(9月完成)し、県民の方に広く熟年者の情報を提供しました。 アクセス件数 10,003件(3月17日現在)</p>	
5	<p>敦賀港、福井港のポートセールスの推進 企業誘致や貿易振興と連携したポートセールスを推進し、敦賀港および福井港の利用企業数、取扱貨物量の増加に取り組めます。</p> <p>〔企業訪問 延べ200社 敦賀港 コンテナ貨物の利用企業数および取扱貨物量 前年比5%増 福井港 関税法上の開港のための要件である外航船50隻入港達成〕</p>	<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>目標数を上回る企業へのポートセールスを積極的に行った結果、福井港については、開港の要件である外航船の入航隻数を大きく上回る入港実績となり、その結果福井港の開港指定が4月を目途に決定される見込みとなりました。 また、敦賀港については、コンテナ利用企業が増加しました。</p> <p>〔企業訪問 延べ217社(2月末現在) 敦賀港 コンテナ貨物の利用企業数 10%増 取扱貨物量 11%減 福井港 関税法上の開港のための要件である外航船50隻入港達成(78隻入港)〕</p>	
6	<p>まちづくり 商業基盤施設の整備、1店1品運動の展開、TMOが行う空き店舗を利用したチャレンジショップの設置・運営などを支援します。</p> <p>〔福井駅前電車通り 北通りアーケード整備 1店1品運動研究会参加者の7割が運動実践 チャレンジショップ 5店舗〕</p>	<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>アーケード(平成16年度実施分)が年度内に完成しました。チャレンジショップの運営に支援し、中心市街地の活性化に寄与しました。 1店1品運動により、具体的に店舗改善に取り組む事業者ができました。</p> <p>〔福井駅前電車通り 北通りアーケード整備が完成(3月) 1店1品運動研究会参加者の7割弱が運動実践に取組む予定 チャレンジショップ 4店舗〕</p>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
7 観光の振興 「ふくいブランド」戦略との整合性を図りながら、民間事業者を積極的に活用した観光振興策を実施します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		「健康長寿」という本県のブランド戦略のもと、民間事業者と連携した観光振興策を実施しました。 旅行エージェントやJR西日本等と連携した旅行商品の企画販売 「健康長寿ふくい」をテーマにした情報発信 浜名湖花博(8/8)、全国県人会まつり(9/11、12)、スポレク福井(10/3、4)など	
旅行エージェントやJR西日本等と連携して、本県の豊かな食材、歴史、自然など観光資源を活かした滞在型の新たな旅行商品を企画し、観光客誘致に直接つなげます。 [新たに県内へ誘致する観光客数 45,000人]		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		旅行エージェントやJR西日本等と連携し、新たな旅行商品を企画し、観光客誘致につなげました。 [・新たに県内に誘致した観光客数 40,565人 (2月末現在)]	
大都市圏等で観光商談会等を開催し、やる気のある観光事業者の新たな販路開拓を積極的に支援します。 [・県内からの参加事業者数 200件 ・成約件数 25件]		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。	
		観光・物産商談会を開催し、事業者の販路開拓を支援しました。 大都市圏等での商談会 名古屋(5/26)、高松(9/13)、岡山、神戸(9/14)、大阪(9/15)、東京(10/7、2/2) 海外エージェントとの県内での商談会 韓国(10/28)、中国浙江省(10/29)、台湾(2/23)、中国上海市(3/2) [・参加事業者数 247社 ・成約件数 26件(2月末現在)]	
(財)芦原観光会館の年度内の廃止に向けて取り組みます。		〔成果等〕 目標を達成しました。	
		(財)芦原観光会館を解散しました。(2月1日)	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (産業労働部)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 ・取組を継続中です。

役職	産業労働部長	氏名	横田 満
取組項目		取組結果	
8 サンドーム福井の利活用 県民がより利用しやすい県有施設として、「サンドーム福井」の設置目的のあり方や具体的利活用方策等を検討し、実施可能なものから具体的に取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 「サンドーム福井」が県民に親しまれる施設となるよう、無料貸出日の設定や屋外へのBGM放送等を始めました。今後、県民が利用しやすい施設となるようさらに取り組んでいきます。	